

2022/1/24

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-6859

先週のマーケット動向(1月17日～1月21日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,190.0	1,195.0	1,185.8	1,194.0	+6.7
JPY/KRW	10.4103	10.5081	10.3338	10.4884	+0.048
KOSPI	2,918.55	2,919.67	2,817.11	2,834.29	▲87.63

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇した。海外時間のドル安の流れを引き継ぎ1,190.0ウォンでオープン。週初は米国の早期の金融政策正常化を反映して底堅い展開となっていたが、18日にはドル/人民元の下落に連れてドル/ウォンは一時1,185.8ウォンまで下落する局面も見られた。その後は、FRBの急速な引き締めへの警戒感と水準感からの輸出企業のドル売り圧力に挟まれ、ドル/ウォンは1,190を中心に動意に乏しい展開となった。週末にかけては韓国株式市場にて巨大IPOが終わったことによりテクニカル的なドルの買い戻しが入ったほか、連日の米株の下落を受けてアジア株式市場が軟調に推移したことによるリスクオフのドル買いも手伝いドル/ウォンは底堅く推移。結局、ドル/ウォンは先週末対比6.7ウォン上昇した1194.0ウォンでクローズした。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はやや底堅い展開を予想する。FOMCに加え、米第4四半期GDP、米12月PCEコアデフレーターといった重要経済指標の発表も控えており、米金融政策引き締めのペースへの警戒感からドルの下値は限定的と思われる。ウクライナ情勢も予断を許さない状況となっており、地政学リスクの観点からもリスク回避のドル買いに傾きやすいか。ただし今週は月末の実需のウォン買いも入ることが想定され、ドル/ウォンは一方向には上昇しないだろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1180 - 1205	10.33 - 10.58	113.0 - 115.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 24日(月) 米 1月 製造業PMI 速報値
- 欧 1月 製造業PMI 速報値
- 欧 1月 サービス業PMI 速報値
- 米 1月 サービス業PMI 速報値
- 25日(火) 米 1月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 韓 4Q GDP 速報値
- 26日(水) 米 12月 新築住宅販売件数
- 米 FOMC 政策金利発表
- 27日(木) 米 1月 失業保険新規申請者数
- 米 12月 耐久財受注 速報値
- 米 4Q GDP 一次速報
- 28日(金) 米 1月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
- 日 1月 東京都区内CPI
- 米 12月 個人所得
- 米 12月 個人消費